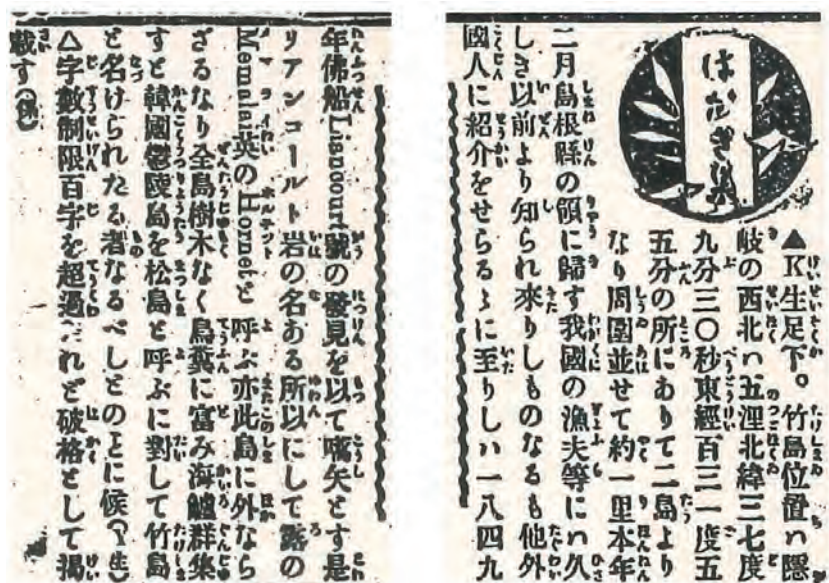


時代区分Ⅱ (1)-③竹島の島根県編入を報じる記事

竹島の名称に関する読売新聞の解説記事

No.16 はがき集

報H28/P10 1905年(明治38年)7月10日付読売新聞記事



所蔵:読売新聞社(画像は読売新聞社データベース「ヨミダス歴史館」掲載資料から作成)

資料概要

現在の竹島は、江戸時代には「松島」、明治初期には「リアンクール島」と呼ばれていた。この資料は、1905年(明治38年)の島根県編入により正式に「竹島」と命名されたことに関する読者からの質問に対する回答である(1905年7月10日付)。

18世紀後半に欧州の探検家が鬱陵島の測量を誤ったことに端を発し、現在の鬱陵島が、「松島」(現在の竹島の江戸時代からの名称)と呼ばれるようになった。また、現在の竹島は、1849年に附近を航海した「Liancourt」号にちなんでリアンクール岩(りゃんこ島/らんこ島)と称されることもあった。

このような時代背景を踏まえ、この資料は、韓国の鬱陵島を松島と呼ぶこと、当時リアンクール岩(リアンクール岩)と呼ばれていた島(現在の竹島)が以前から日本の漁夫に知られていたこと、また、その島が正式に竹島と名付けられたことを伝えるものである。

なお、一箇所誤記(ロシア名の「Memalai」は「Menelai」の誤り)が見られるほかは、「北緯37度9分30秒 東経131度55分」という経緯度表示も含め、1905年2月の島根県告示第40号の内容を正確に表している。

内容見本

はがき集

(略)竹島位置ハ隠岐の西北八五湮北緯三七度九分三〇秒東経百三一度五五分の所にありて二島よりなり周囲並せて約一里本年二月島根県の領に歸す我國の漁夫等ハ久しき以前より知られ來りしものなるも他外国人に紹介をせらるゝに至りしハ一八四九年佛船 Liancourt 号の發見を以て嚆矢とす是リアンクールト岩の名ある所以にして露の Memalai 英の Hornet と呼ぶ亦此島に外ならざるなり全島樹木なく鳥糞に富み海驢群集すと韓国鬱陵島を松島と呼ぶに對して竹島と名けられたる者なるべしとのことに候(略)

作成年月日	1905年(明治38年)7月10日
編著者	-
発行者	読売新聞社
収録誌	読売新聞
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	国立国会図書館東京本館
利用方法	国立国会図書館で利用手続きを行う (ヨミダス歴史館で閲覧を行う)